

第8回JAMSNET東京講演会

後援: 外務省、日本医師会、日本渡航医学会
NPO 国際人をめざす会

2019/07/28

早稲田大学9号館

第一会議室

14:00-16:30

災害医療



お申し込みは：QR自動申し込みフォームかメールで



👉 info@jamsnettokyo.org

件名：2019JAMSNET講演会

1. 参加者名 (ふりがな) :
2. 同伴人数 :
3. 所属 :
4. JAMSNET会員or非会員 :
5. 懇親会参加：有/無

を明記してお申し込みください

詳しくは www.jamsnettokyo.org

参加費：会員無料/一般1000円/学生500円

*17:00 - 18:30 懇親会 (別途参加費2000円)

申し込み締め切り：7月25日 (木)

特定非営利活動法人ジャムズネット東京



JAMSNET東京
JAPANESE MEDICAL SUPPORT NETWORK IN TOKYO



災害医療



災害は国内海外を問わずいつ発生するか予想がつかない。2019年ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピック・パラリンピックを控えて東京都を始め各種対策が取られている。今般、東京都災害対策の中心におられる東京大学大学院森村尚登教授、海外での災害対策に関して経験豊富な防衛医科大学校加来浩器教授、東日本大震災で現場の病院で活躍された菅野武先生にお話を聞く機会を得ることができた。

私たちに何ができるであろうか？



森村尚登(もりむら なおと)

1986年に横浜市立大学医学部を卒業後、日本医科大学付属病院や横浜市立大学医学部附属浦舟病院の救命救急センターで経験を積む。1997年にはフランス院外救急医療支援組織(SAMU)パリ本部へ留学。2016年に東京大学大学院医学系研究科救急医学の教授に就任。救急医学の専門家として、国内外の災害医療に携わってきた経験を持つ



加来浩器(かく こうき)

防衛医科大学校防衛医学研究センターにて、広域感染症疫学・制御研究部門の教授を務める。デング熱やマラリアなど、世界で流行する感染症について、病原体や媒介者の性質、地域の歴史や国ごとの課題などに深い観察眼を持ち、多角的な研究を行っている。



菅野 武(かんの たけし)

マクマスター大学消化器内科 リサーチフェロー / 東北大学大学院医学系研究科消化器病態学 分野 非常勤講師 / 高知県災害医療アドバイザー

2011年東日本大震災では、南三陸町公立志津川病院で勤務医として15mを超える地震津波災害に被災、患者・住民避難とその後の災害医療体制構築に関わり TIME 誌「世界で最も影響力のある100人」に選出。以降、災害医療領域の中でこれまで重視されてこなかった支援を受け止める「受援」の在り方を提言している。そして被災した人間としてのいのちの教育、困難に向き合うレジリエントな社会を目指し国内外で経験と知見を共有する講演活動を継続している。

プログラム

1. キックオフトーク

森村尚登 (東京大学大学院教授)

2. リレートーク

①加来浩器 (防衛医科大学校教授)

②菅野武 (高知県災害医療アドバイザー他)

3. ディスカッション

座長: 1. 仲本光一 (JAMSNET 東京理事)

2. 古閑比斗志 (JAMSNET 東京理事長)

